



久保田由夫 ほっと通信

NO. 87

2019. 3. 17

【部内資料】



発行 くぼたよしお事務所 ☎42-6361 fax 42-5630

<久保田由夫のブログ・フェイスブック・ホームページもご覧ください>



<季節の写真>

武石地域総合センターの整備事業に伴い、武石公民館が一部取り壊されることになりました。長野大学生が協力して、イルミネーションが点灯されています。

3. 11に思うこと・・・被災地の復興の課題、原発など

◆3.11 東日本大震災から丸8年がたった。その年の4月から毎年一回、被災地の一つ岩手県陸前高田市へ復興支援に出かけている。復興は少しずつ進んでいるように見える。しかし、8年前に津波の被害をкаろうじて逃れた気仙川のそばにあるガソリンスタンドは、移転予定があるもののまだ実現していない。◆日本は、4つのプレートの上にある災害大国である。いくら予算をつぎ込んでも、平時の制度では、とても復興事業は大きく進まないことが分かった。政治(国会)が知恵を絞るべきである。◆「日本中が少し我慢して節電すれば、原発を停止しても大丈夫と思った」「今は、忘れかけようとしている。あるいは忘れさせようとしている気がする」山田洋次(映画監督)への朝日新聞のインタビュー記事に目が留まった。◆「野党4党が国会に提出した『原発ゼロ基本法案』が一度も審議されないまま丸1年」の記事もあった。◆経団連の中西宏明会長(日立製作所会長)の原発に関連する発言も注目されている。◆「科学技術は万能ではない」と気づいた国民に対して、原発にしがみつく勢力が「忘れさせようとしている」と思えてならない。(由夫)

高村京子県議を先頭に、ウソとごまかしの政治を変えよう！ ～多彩なとりくみ～



日本共産党演説会では、井上さとし参議院議員、高村京子県議、長瀬由希子(参院長野選挙区予定候補)、坂城町議選の大森茂彦町議、玉川清史(新人)らが、「ウソとごまかし」の政治を変えて、国民の暮らしを守る新しい政治をと訴えました。(3月3日：上田創造館)



丸子地域では、高村県議を囲んで懇談会を重ねています。「安倍政治はがまんできない」「森林税の使い方は」「消費税に代わる財源は」「国道の安全対策」「医療、介護、福祉を今後どうすればいいのか」などたくさんの意見が出されました。(写真は、丸子、道久、西内、長瀬の各会場)



高村京子後援会事務所びらきが、3月10日行われました。場所は、原町交差点そばです。お近くにお出かけの際は、お立ち寄りください。TEL28-5560 FAX75-8818